

## 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールの一々ミグライツパートナーの募集について

### 1. 一々ミグライツ導入の目的

滋賀県では、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールの長期的・継続的な運営基盤を確立し、魅力ある文化事業を展開し、より良い文化の振興を通じ県民にサービスの向上を図る目的で、びわ湖ホールの大ホール・中ホール・小ホールに芸術文化の拠点施設としてふさわしい愛称(企業名や商品名等)を付けることができる権利を取得する企業等(一々ミグライツパートナー)を募集します。

一々ミグライツパートナーは、各ホールに愛称を表示することで、企業名等を発信することができるのととも、芸術文化への支援という社会貢献を行うことにもなります。

### 2. 対象施設 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールの大ホール、中ホール、小ホール

### 3. 募集条件

(1) 一々ミグライツ料(年額・消費税および地方消費税は含みます。)

大ホール 1,000万円以上

中ホール 500万円以上

小ホール 200万円以上

※複数ホールの応募が可能です。

(2) 契約期間 平成25年4月1日から平成28年3月31日まで(予定)

(3) 応募資格 法人を対象とします。

(4) 愛称の表示 館内の案内板や公演チラシ・ポスターなどへの表示となります。

愛称には必ず「大ホール」「中ホール」「小ホール」を使用させていただきます。

(例:○○○大ホール)

(5) 愛称の普及 県は愛称の普及・定着を図るため、ホール利用者やメディア等に対し愛称の使用を積極的に働きかけます。

### 4. 募集期間

平成24年(2012年)12月25日(火)から平成25年(2013年)1月31日(木)まで

### 5. 選定方法および選定基準等

応募のあった企業等の中から、滋賀県総合政策部文化振興課文化施設一々ミグライツ選定委員会において、愛称、一々ミグライツ料、地域貢献等を総合的に審査し、県が決定します。

## 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールの概要

所在地：大津市打出浜15-1

開館日：平成10年9月5日

敷地面積：20,000 m<sup>2</sup>、建築面積：13,960.05 m<sup>2</sup>、延床面積：29,264.25 m<sup>2</sup>

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC) 一部鉄骨造 (S)

指定管理者：公益財団法人びわ湖ホール (期間：平成23年4月1日～平成28年3月31日)

各ホールの客席数・公演数・公演入場者数

	客席数	平成22年度		平成23年度	
		公演数	公演入場者数	公演数	公演入場者数
大ホール	1848席	90公演	12.7万人	113公演	15.1万人
中ホール	804席	65公演	3.8万人	67公演	3.7万人
小ホール	323席	126公演	2.2万人	129公演	2.3万人
計	—	281公演	18.7万人	309公演	21.1万人
来館者総数	—	25.3万人		28.2万人	

### 情報発信件数

自主事業でのチラシ配布枚数 (年間) 各ホール約50万枚

「Stage」毎月発行 (チケット発売情報・公演情報) 各20,000部

「湖響」年3回発行 (びわ湖ホールPR情報誌) 各10,000部

「自主事業年間公演プログラム」年2回発行 各40,000部

インターネット閲覧件数 (年間) 約50万件

新聞記事掲載件数 約400件 (年間)

### 各ホールの状況

#### ◇大ホール

オペラ、バレエ、ミュージカルなどの音楽劇をはじめ、クラシック音楽の演奏に優れた音質、美しい響き、十分な音量を提供できるホールです。本格的な4面舞台と最新の舞台特殊設備が、多彩な演出と素早い舞台転換を可能にし、シェル (走行式音響反射板) をセットすることによってクラシック音楽にも最適なコンサートホールになります。

(平成24年度主な事業)

プロデュースオペラ「椿姫」、音楽会へ出かけよう！ホールの子事業、シルヴェスターコンサート2012-2013、日本センチュリー交響楽団定期公演

#### ◇中ホール

充実した舞台設備を備えた演劇向きのホールです。自由な演出を可能にする舞台機構と、オーケストラピットにもなる前舞台を備え、オペラ、バレエ、ミュージカルの上演にも適しています。

(平成24年度主な事業)

オペラへの招待「森は生きている」、松竹大歌舞伎、野村万作・萬斎狂言公演

#### ◇小ホール

小編成のクラシック音楽、声楽などの演奏に適した小規模のコンサートホールです。

(平成24年度主な事業)

びわ湖ホール声楽アンサンブル定期公演、びわ湖の午後く堀内康雄バリトリアクト